

平成22年度 理学療法学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

鈴木 俊明、谷埜予士次、米田 浩久、高崎 恭輔、
谷 万喜子、中山 裕子、山口 紀子、鬼形周恵子

B. 研究活動の概要

1. 研究計画ならびに研究費の申請と執行の経過

平成22年4月1日から共同研究推進委員会のもとで、
理学療法学ユニットとして活動を開始した。

今年度の研究テーマは、

- 1) 理学療法評価および治療に関する神経生理学的・
生体力学的研究
- 2) 理学療法と鍼灸医学の考えを組み合わせた新しい治
療法の開発と、その効果に関する神経生理学的研究
- 3) 運動学習、運動イメージに関する神経生理学的研究
- 4) 神経疾患に対する鍼治療効果に関する基礎および臨
床研究
- 5) 効果的な理学療法教育に関する研究

である。各メンバーが専門領域での研究を実施すること
ができた。

本ユニットにおいては、平成22年度は共同研究推進委
員会への研究費申請は行わなかった。

2. 理学療法学ユニット勉強会の活動

各メンバーの研究報告を中心に理学療法学ユニット勉
強会を実施した。以下にその活動概要をまとめた。

①第1回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成22年8月26日（木）20時30分～21時30分

場 所：3号館2階B23教室

内 容：ミオリーベの使用により明確な機能障害の抽
出が可能となった腰部疾患患者について
高崎恭輔

②第2回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成22年9月9日（木）20時～21時

場 所：3号館2階B23教室

内 容：感情が運動学習に与える効果について
米田浩久

③第3回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成22年10月7日（木）19時～20時

場 所：3号館2階B23教室

内 容：H reflex and M waves from Vastus Me-
dialis Obliquus and Longus

谷埜予士次

④第4回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成22年11月4日（木）18時30分～19時30分

場 所：3号館2階B22教室

内 容：The acupuncture treatment for patients
with cervical dystonia

谷 万喜子

⑤第5回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成22年11月18日（木）19時30分～21時

場 所：3号館2階B22教室

内 容：太白への鍼刺激が膝伸展時における大腿四頭
筋機能に与える影響

稲垣良太先生（本学準研究員・鍼灸師）

合谷への鍼刺激前後における trigemino-
cervical reflex の変化

谷 万喜子

聴覚刺激の刺激間隔の相違による予測の要因
が筋電図反応時間の短縮に及ぼす影響

高橋優基先生（名谷病院）

⑥第6回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成22年3月10日（木）19時～20時30分

場 所：3号館2階B22教室

内 容：1. 研修員研修報告

歩行時に転倒傾向を認めた右小脳出血患
者の一症例－筋収縮の遅延に着目して－

吉岡芳泰先生（研修員・理学療法士）

麻痺側立脚期へのアプローチにより麻痺
側遊脚期のぶん回しに改善を認めた

脳卒中右片麻痺患者の一症例

島崎 瞳（研修員・理学療法士）

2. 研究報告

上肢ジストニアの上肢機能と鍼治療効果

谷 万喜子

C. 研究業績

1. 著書・原著

鈴木俊明：基本技術⑩筋緊張の評価②中枢神経疾患，星
文彦，伊藤俊一，盆子原秀三（編），理学療法評価学テキ
スト，東京，南光堂，2010，151-62

鈴木俊明, 後藤 淳, 大工谷新一, 渡邊裕文, 三浦雄一郎, 谷 万喜子 (監): The Real Physical Therapy—理学療法の現場から—, 東京, アイベック, 2010

鈴木俊明, 高崎恭輔, 谷 埜予士次, 米田浩久, 谷 万喜子, 渡邊裕文ら: 運動器疾患を理解するための体幹筋の筋活動評価, 臨床脳波, 2010, 52, 437-6

井上博紀, 谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 上肢ジストニア患者一症例に対する上肢運動機能定量化システムを用いた鍼治療効果検討, 関西医療大学紀要, 2010, 4, 92-9

鈴木俊明, 谷 埜予士次, 米田浩久, 高崎恭輔, 鬼形周恵子, 谷 万喜子ら: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージは対側脊髄神経機能を興奮させる, 脊髄機能診断学, 2010, 32, 101-5

鈴木俊明: 再考 理学療法基本技術, 関西理学, 2010, 10, 1-4

高崎恭輔, 山口剛司, 鈴木俊明, 清水卓也, 上肢の関節可動域練習, 関西理学, 2010, 10, 33-42

魚住 心, 渡邊裕文, 鈴木俊明: 介助歩行時における身体操作, 関西理学, 2010, 10, 43-9

貝尻 望, 赤松圭介, 藤本将志, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明ら: 深く座る座位と浅く座る座位での靴・靴下着脱動作における姿勢戦略に関する研究, 関西理学, 2010, 10, 51-6

早田 荘, 赤松圭介, 藤本将志, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明ら: 洗髪動作模倣課題遂行時における僧帽筋の筋活動について—肘関節屈伸運動の速度変化による検討—, 関西理学, 2010, 10, 57-62

藤原 聡, 伊藤正憲, 嘉戸直樹, 鈴木俊明, 嶋田智明: 周期性の認識に基づく効率的な運動中に定期的に呈示される異なる刺激間隔が筋電図反応時間に及ぼす影響—刺激回数の増加と刺激間隔の相違による検討—, 関西理学, 2010, 10, 71-6

2. 学術講演・学会発表

鈴木俊明: 母指対立運動のイメージが対側 F 波に与える影響, 第47回日本リハビリテーション医学会学術集会, 鹿児島, 2010. 5

三井 浩, 谷 万喜子, 吉村匡史, 柳生隆視, 鈴木俊明, 木下利彦ら: 合谷鍼刺激による3次元脳電位活動の変化, 第106回日本精神神経学会学術総会, 広島, 2010. 5

谷 万喜子, 鈴木俊明, 山田哲平, 三井 浩, 木下利彦: 頭部後屈を呈した薬剤性頸部ジストニア患者に対する鍼治療, 第106回日本精神神経学会学術総会, 広島, 2010. 5

鈴木俊明, 谷 埜予士次, 米田浩久, 高崎恭輔, 谷 万喜子, 鬼形周恵子ら: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが対側 F 波に与える影響, 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜, 2010. 5

水上俊樹, 藤本将志, 赤松圭介, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明ら: 背臥位での極軽度殿部挙上位における骨盤側方移動距離の変化が腰背筋群の筋電図積分値に与える影響, 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜, 2010. 5

渡邊裕文, 大沼俊博, 山口剛司, 高崎恭輔, 谷 埜予士次, 鈴木俊明, 座位での側方への体重移動における体幹筋群の筋電図積分値について, 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜, 2010. 5

大工谷新一, 小野淳子, 鈴木俊明: 膝伸展筋力を一定強度で維持させる課題の方法の違いにおける母指対立筋から記録されるサイレントピリオドの変動, 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜, 2010. 5

米田浩久, 高崎恭輔, 中山裕子, 谷 埜予士次, 鈴木俊明, 湯浅亮一: 本学理学療法学科学生の学習意欲と OSCE による学習成果の検討, 第45回日本理学療法学術大会, 岐阜, 2010. 5

三浦雄一郎, 福島秀晃, 鈴木俊明, 森原 徹: 上肢空間保持における棘上筋・棘下筋の筋電図学的分析—肘関節角度の変化に着目して—, 第45回日本理学療法学術大会 岐阜, 2010. 5

田尻恵乃, 藤本将志, 赤松圭介, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明ら: 長座位での側方体重移動が両側外腹斜筋・内

腹斜筋の筋電図積分値に与える影響, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

山口剛司, 高崎恭輔, 鈴木俊明: 片脚立位での一側下肢の運動が対側の支持脚における足底圧中心位置と足部および膝関節周囲筋群の活動に与える影響, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

早田 荘, 赤松圭介, 藤本将志, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明ら: 洗髪動作における僧帽筋の筋活動について—速い肘関節屈伸運動による洗髪動作における検討—, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

藤原 聡, 伊藤正憲, 嘉戸直樹, 鈴木俊明, 嶋田智明: 一定間隔の聴覚刺激に基づく運動中に挿入される異なる刺激間隔が周期運動の遂行に及ぼす影響—筋電図反応時間による検討—, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

貴志真也, 森北育宏, 片岡大輔, 木村侑史, 吉田隆紀, 鈴木俊明ら: 男子大学剣道選手の腰痛群と非腰痛群における脊柱 Alignment と脊柱筋の特徴, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

伊藤正憲, 嘉戸直樹, 藤原 聡, 鈴木俊明: 周期的な聴覚刺激の入力を手がかりとした運動後に継続する周期運動の検討—In-phase 運動と Anti-phase 運動による比較—, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

末廣健児, 後藤 淳, 鈴木俊明: 股関節への固有感覚入力が健常者の運動機能に与える影響—股関節の関節可動域, 端座位における骨盤の前傾・後傾角度, 側方リーチ距離, 長座位体前屈の計測値に基づく検討—, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

嘉戸直樹, 伊藤正憲, 鈴木俊明: 手指対立運動が対側上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響, 第45回日本理学療法学会大会, 岐阜, 2010. 5

鈴木俊明: 動作分析を用いたジストニア鍼治療—ダイナミック鍼治療の紹介—, 第59回(社)全日本鍼灸学会学会大会, 大阪, 2010. 6

鈴木俊明, 谷 万喜子: 尺沢の経穴刺激理学療法が母指対立運動イメージ効果に与える影響—F波における検討—,

第59回(社)全日本鍼灸学会学会大会, 大阪, 2010. 6

谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 上肢ジストニア患者2症例の書字動作評価と鍼治療—上肢運動機能定量化システムによる検討—, 第59回(社)全日本鍼灸学会学会大会, 大阪, 2010. 6

山田哲平, 谷 万喜子, 鈴木俊明, 三井 浩, 木下利彦: 体幹に着目して治療を行った頸部・咬筋ジストニアにおける一症例, 第59回(社)全日本鍼灸学会学会大会, 大阪, 2010. 6

酒井英謙, 井上博紀, 谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 動作分析に基づいて鍼治療を行った書痙患者に対する鍼治療, 第59回(社)全日本鍼灸学会学会大会, 大阪, 2010. 6

鈴木俊明: 機器を用いた症例のまとめ方, 第22回大阪府理学療法学会大会, 大阪, 2010. 7

高木綾一, 高崎恭輔, 大工谷新一, 鈴木俊明: 健常者の立位における急速な上肢挙上の姿勢制御—表面筋電計と三次元動作解析装置を用いた検討—, 第22回大阪府理学療法学会大会, 大阪, 2010. 7

相星裕生, 高木綾一, 大工谷新一, 鈴木俊明: 足底への振動刺激が片脚立位時の重心動揺に与える影響, 第22回大阪府理学療法学会大会, 大阪, 2010. 7

畑中生子, 高木綾一, 鈴木俊明: 非麻痺側股関節周囲筋の筋緊張低下へのアプローチにより, 右立脚初期に前方への転倒傾向が改善した右片麻痺の一症例, 第22回大阪府理学療法学会大会, 大阪, 2010. 7

河原 香, 井上隆文, 中道哲朗, 山口剛司, 鈴木俊明: 右立脚時に右膝関節外側部の疼痛を訴えた右変形性膝関節症患者の一症例—左立脚時に着目して—, 第22回大阪府理学療法学会大会, 大阪, 2010. 7

中道哲朗, 山口剛司, 渡邊裕文, 鈴木俊明: ゴルフスイングのテイクバック動作時に右三角筋後部線維の疼痛を認めた一症例—足部機能に着目して—, 第22回大阪府理学療法学会大会, 大阪, 2010. 7

大井直樹, 高木綾一, 鈴木俊明: 右足関節背屈制限改善

による下肢アライメントの変化が右立脚期における右後方への転倒傾向を軽減させた廃用症候群の一症例, 第22回大阪府理学療法学会, 大阪, 2010. 7

田津原佑介, 高木綾一, 鈴木俊明: 立位アライメントへのアプローチにより, 右立脚中期での骨盤左回旋・左側下制が改善した右大腿骨転子部骨折の一症例, 第22回大阪府理学療法学会, 大阪, 2010. 7

渡邊裕文, 大沼俊博, 藤本将志, 赤松圭介, 鈴木俊明: 年長の癱直型両麻痺児の足部のアライメント不良に対するアプローチ, 第60回日本病院学会, 岐阜, 2010. 7

藤本将志, 赤松圭介, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明: 階段昇降動作における段鼻への麻痺側足尖部の引っ掛かりにより動作に安定性低下を認めた脳梗塞後右片麻痺症例に対する理学療法, 第60回日本病院学会, 岐阜, 2010. 7

赤松圭介, 藤本将志, 大沼俊博, 田尻恵乃, 渡邊裕文, 鈴木俊明: 長座位での右上肢側方リーチ動作時に右側への転倒傾向を認めた Machado-Joseph 病の一症例, 第60回日本病院学会, 岐阜, 2010. 7

高崎恭輔, 谷埜予士次, 鈴木俊明, 清水卓也: ミオリベの使用により明確な機能障害の抽出が可能となった腰部疾患患者について, FTEX Institute 第13回全体研修会, 大阪, 2010. 9

鈴木俊明, 米田浩久, 谷埜予士次, 高崎恭輔, 谷 万喜子, 吉田宗平ら: パーキンソン病患者の前屈み姿勢の改善には骨盤調整が重要である, MDSJ 第4回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 京都, 2010.10

Tanino Y, Daikuya S, Suzuki T: H-reflex and M-waves from vastus medialis obliquus and longus 11th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy, Indonesia, 2010.10

Suzuki T, Tanino Y, Yoneda H, Takasaki K, Onigata C, Tani M et al: Excitability of spinal neural function by different methods of motor imagery with isometric opponens pollicis activity -F-wave study, 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10

Suzuki T, Tani M, Onigata C, Yoneda H, Takasaki K, Tanino Y et al: The H-reflex of soleus muscle in acupuncture stimulation physical therapy (ASPT), 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10

Mii H, Tani M, Suzuki T et al: A change of the three-dimensional brain electric activity by the L14 (Heku) acupuncture stimulation, 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10

Tanino Y, Suzuki T: Characteristics of CMAP waveforms of vastus medialis obliquus and longus 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10

Tani M, Suzuki T, Sakai H, Yamada T, Wakayama I, Yoshida S, Mii H, Kinoshita T et al: The acupuncture treatment for patients with cervical dystonia, WFAS 2010 International Acupuncture Conference, San Francisco, USA, 2010.11

鈴木俊明, 谷埜予士次, 米田浩久, 高崎恭輔, 鬼形周恵子, 谷 万喜子: 運動イメージが対側 F 波に与える影響 -母指対立運動を用いて-, 第40回日本臨床神経生理学会学術大会, 兵庫, 2010.11

鈴木俊明: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動が脊髄神経機能に与える影響 -F 波導出における運動イメージ時間による検討-, 第50回近畿理学療法学会学術大会, 和歌山, 2010.11

大沼俊博, 鈴木俊明: 前方ステップ肢位における腹斜筋群の筋電図積分値について -複数電極の配置による検討-, 第50回近畿理学療法学会学術大会, 和歌山, 2010.11

熊崎大輔, 鈴木俊明: 市民フェスティバルにおける理学療法に関するアンケート調査, 第50回近畿理学療法学会学術大会, 和歌山, 2010.11

貝尻 望, 鈴木俊明: 端座位一側下肢挙上位での体幹屈曲角度の変化が体幹筋群の筋電図積分値に及ぼす影響, 第50回近畿理学療法学会学術大会, 和歌山, 2010.11

福島秀晃, 鈴木俊明: 副神経麻痺・長胸神経麻痺による翼状肩甲症例の肩関節屈曲動作における鎖骨・肩甲骨動態解析, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

高橋優基, 鈴木俊明: 聴覚刺激の刺激間隔の相違による予測の要因が筋電図反応時間の短縮に及ぼす影響, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

野崎 結, 鈴木俊明: リフティング肢位における重量負荷量の変化が体幹筋群の筋電図積分値に及ぼす影響—両膝関節前面部での重量物に対する固定の有無による検討—, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

藤川真未, 鈴木俊明: 片脚肢位における非支持側下肢の運動が支持側足底圧中心位置と足部周囲筋群の筋活動に及ぼす影響—非支持側下肢の前後方向への課題による検討—, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

三浦雄一郎, 鈴木俊明: 肩鎖関節脱臼症例の肩甲帯運動と肩甲帯周囲筋の筋電図学的検討, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

旅 なつき, 鈴木俊明: 端座位での下位脱衣動作における体幹の関節運動と筋活動について—治療用ベッド上と便座上での比較—, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

末廣健児, 鈴木俊明: 股関節への固有感覚入力の実施時間の相違が健常者の運動機能に与える影響—股関節の関節可動域, 端座位での最大側方リーチ距離, 長座位体前屈の計測値に基づく検討—, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

高見武志, 鈴木俊明: 結帯動作における肩甲骨周囲筋群の筋活動について, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

津江正樹, 鈴木俊明: 端座位一側下肢挙上位での側方への荷重量の変化が腹斜筋群の筋電図積分値に与える影響, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

井上隆文, 鈴木俊明: 立位での一側下肢への側方体重移動が内腹斜筋と腰背筋の筋活動に及ぼす影響—移動速度の違いによる検討—, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

玉置昌孝, 鈴木俊明: 両脚立位から片脚立位への動作における体幹筋の筋活動について, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

門田淳志, 鈴木俊明: ステップ動作における踵接地の有無が支持側大殿筋の筋活動に及ぼす影響, 第50回近畿理学療法学会, 和歌山, 2010.11

鈴木俊明, 谷 万喜子, 吉田宗平: 合谷への鍼刺激前後における trigemino-cervical reflex の変化, (社) 全日本鍼灸学会第30回近畿支部学会, 大阪, 2010.11

稲垣良太, 谷 堃予士次, 氏原輝子, 谷 万喜子, 鈴木俊明: 太白への鍼刺激が膝伸展時における大腿四頭筋機能に与える影響, (社) 全日本鍼灸学会第30回近畿支部学会, 大阪, 2010.11

吉田宗平, 鈴木俊明, 中吉隆之, 米田浩久, 紀平為子, 吉益文夫: 和歌山県スモン患者におけるファンクショナルリーチテストのテスト方法の違いとバランス能力, 歩行機能との関係, 平成22年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「スモンに関する調査研究班」研究報告会, 東京, 2011. 2

鈴木俊明, 谷 堃予士次, 米田浩久, 高崎恭輔, 鬼形周恵子, 谷 万喜子: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ方法の違いが脊髄神経機能に与える影響—視覚の有無の関連性—, 第33回脊髄機能診断研究会, 東京, 2011. 2

鈴木俊明: 効果的な運動イメージに関する神経生理学的研究—母指対立運動イメージのF波での検討—, 第2回日本ニューロリハビリテーション学会学会, 愛知, 2011. 2

3. その他

鈴木俊明: 大阪府和泉市 神経難病患者へのリハビリと留意点について (講演), 大阪府和泉保健所, 大阪, 2010. 6

鈴木俊明: ジストニアの鍼治療, 女性鍼灸師フォーラム, 神奈川, 2010. 7

鈴木俊明: パーキンソン病の最新治療—理学療法アプローチ—, 鍼灸マッサージの生涯研修会, 大阪, 2010. 8

鈴木俊明：脳卒中に対する理学療法のガイドライン，札幌医科大学保健医療学部理学療法学科 平成22年度卒後研修セミナー，北海道，2010. 9

鈴木俊明：脳卒中に対する理学療法の現状と展望，札幌医科大学保健医療学部理学療法学科 平成22年度卒後研修セミナー，北海道，2010. 9

鈴木俊明，谷埜予士次，高崎恭輔，谷 万喜子ら：ミオリベの科学的根拠と中枢神経疾患に対する応用，FTEX Institute 第13回全体研修会，大阪，2010. 9

鈴木俊明：京都府福知山市 平成22年度機能訓練事業（講演），京都府福知山保健所，京都，2010. 9

小長谷正明，寶珠山 稔，吉田宗平，鈴木俊明ら：スモン患者さんのためのリフレッシュ体操とマッサージ（DVD），厚生労働省難治性疾患克服研究事業 スモンに関する調査研究班，2011. 2